

第1回 中野総合学科新校（仮称） 再編実施計画懇話会

2021年（令和3年）12月9日
中野市中央公民館



◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

▶ご参集の皆様へのお願い

- ①マスク着用
- ②手指消毒
- ③体温測定
- ④ソーシャルディスタンスの確保
- ⑤会議時間 1時間30分(90分間)



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

【本日の次第】

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 中野総合学科新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4 中野総合学科新校（仮称）

再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨
- (2) 今後のスケジュール等



(1) 「懇話会」開催の趣旨

(目的)

再編実施計画を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

(会議事項)

①学校像、教育方針 ②校地・施設・設備 ③管理運営、教育内容

(構成員)

- ①学校関係者（校長、教職員等）
- ②地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）
- ③同窓会、PTA、生徒の代表 等
- ④学識経験者

(開催期間)

新校が開校するまでの間

(2) 今後のスケジュール等

本日

2021年
12月～

「新校再編実施計画懇話会」の開催

- 目指す学校像 ○教育目標 ○設置課程 ○募集学級数 ○募集開始年度 ○教育課程
- 活用する校地・校舎 ○施設・設備 ○統合方法 ○校名 ○校歌・校章 等の意見交換

「再編実施基本計画」について懇話会での意見交換

- ①再編統合対象校 ②募集開始年度 ③活用する校地・校舎
- ④設置課程・学科及び想定する募集学級数 ⑤統合新校の学びのイメージ

「再編実施基本計画」の決定(県教育委員会)

「再編実施基本計画」の県議会へ上程

県議会の同意後

統合新校の開校準備 (「再編実施計画」について懇話会での意見交換)

- ①校舎の建設、施設整備 ②統合新校の校名等の統合の細目 等

20XX年

中野総合学科新校(仮称) 募集開始

校地検討会議等の
専門会議の開催

検討状況を地域へ丁寧に情報提供

◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

5 座長選出



■第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

6 会議事項

（1）「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【二次】
- ③ 中野総合学科新校の学校像

（2）質疑応答及び意見交換



「高校改革 ～ 夢に挑戦する学び～」





はじめに

2017年3月 学びの改革 基本構想

▶「新たな社会を創造する力」を育む教育の推進と高校づくり

2018年9月 高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針

▶「新たな学びの推進」と「再編・整備計画」の方針

2020年9月 再編・整備計画【一次】

2020年3月 再編・整備計画【二次】（案）

▶住民説明会での意見交換

2021年9月 再編・整備計画【二次】

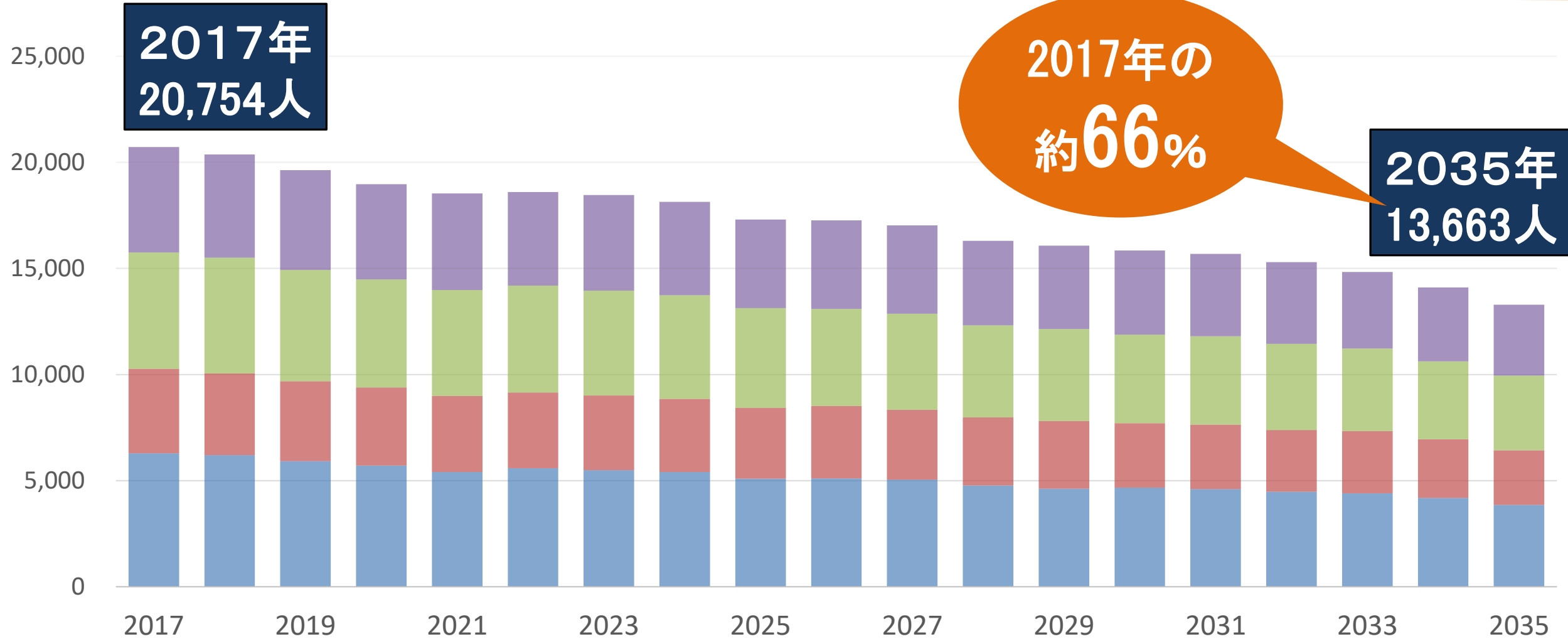
今なぜ高校改革か① ～激変する社会への対応～

■ Society 5.0で実現する社会
AIにより、必要な情報を必要な時に提供、ロボットや自動走行車などの技術で、少子高齢化、地方の過疎化、貧富の格差などの課題克服

■ これまでの社会（情報社会）の課題
必要な情報の探索・分析が負担、地域の課題や高齢者のニーズへの対応が不十分 など



今なぜ高校改革か② ～進行する少子化への対応～



長野県の中学校卒業生数の予測（通学区別）

■ 第1通学区 ■ 第2通学区 ■ 第3通学区 ■ 第4通学区

「実施方針」 ～高校改革が目ざすもの～

次代を担う子どもたちのための「学びの改革」

すべての県立高校で推進

激変する社会への対応

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

将来にわたって高校教育の学びの質を保障

「実施方針」 ～6つの方針～

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現

新たな学びの推進 (学びの質を充実)

方針1 すべての高校が
新たな学びへ転換

方針2 多様な学びの場、学び
の仕組みを整備充実

方針3 新たな学びに
ふさわしい環境を整備

新たな高校づくり (学びの基盤を整備)

方針4 さらなる少子化の進行
に的確に対応

方針5 多様な学びの場を
全県に適切に配置

方針6 「再編・整備計画」を
確定し計画的に整備

「実施方針」 ～新たな学び①～

方針1

すべての高校が新たな学びへ転換

- 「探究的な学び」の推進
(主体的・対話的で深い学び)
- 3つの方針の策定と運用
(グランドデザイン)
 - ① 生徒育成方針
 - ② 教育課程編成・実施方針
 - ③ 生徒募集方針
- 高校入試制度改革 など

「探究的な学び」のプロセス

課題
設定

情報
収集

整理
分析

まとめ
表現

フィールド
ワーク

グループ
ワーク

プレゼン
テーション



「探究的な学び」を通して大切にされること

知識・技能
の活用

思考力・判断
力・表現力

仲間と
の協働

「実施方針」 ～新たな学び②～

「探究的な学び」のイメージ

これまでの学び（例）



知識・技能を間違えずに習得、必要に応じて活用



新たな学び（例）



知識・技能を活用し、正解のない課題に向き合い、チームとして協働しながら解決していく

(旧第2通学区) 再編・整備計画【二次】



旧第2通学区
(中野・須坂地域)

旧第5通学区
(上田地域)

旧第10通学区
(木曾地域)

旧第8通学区
(上伊那地域)



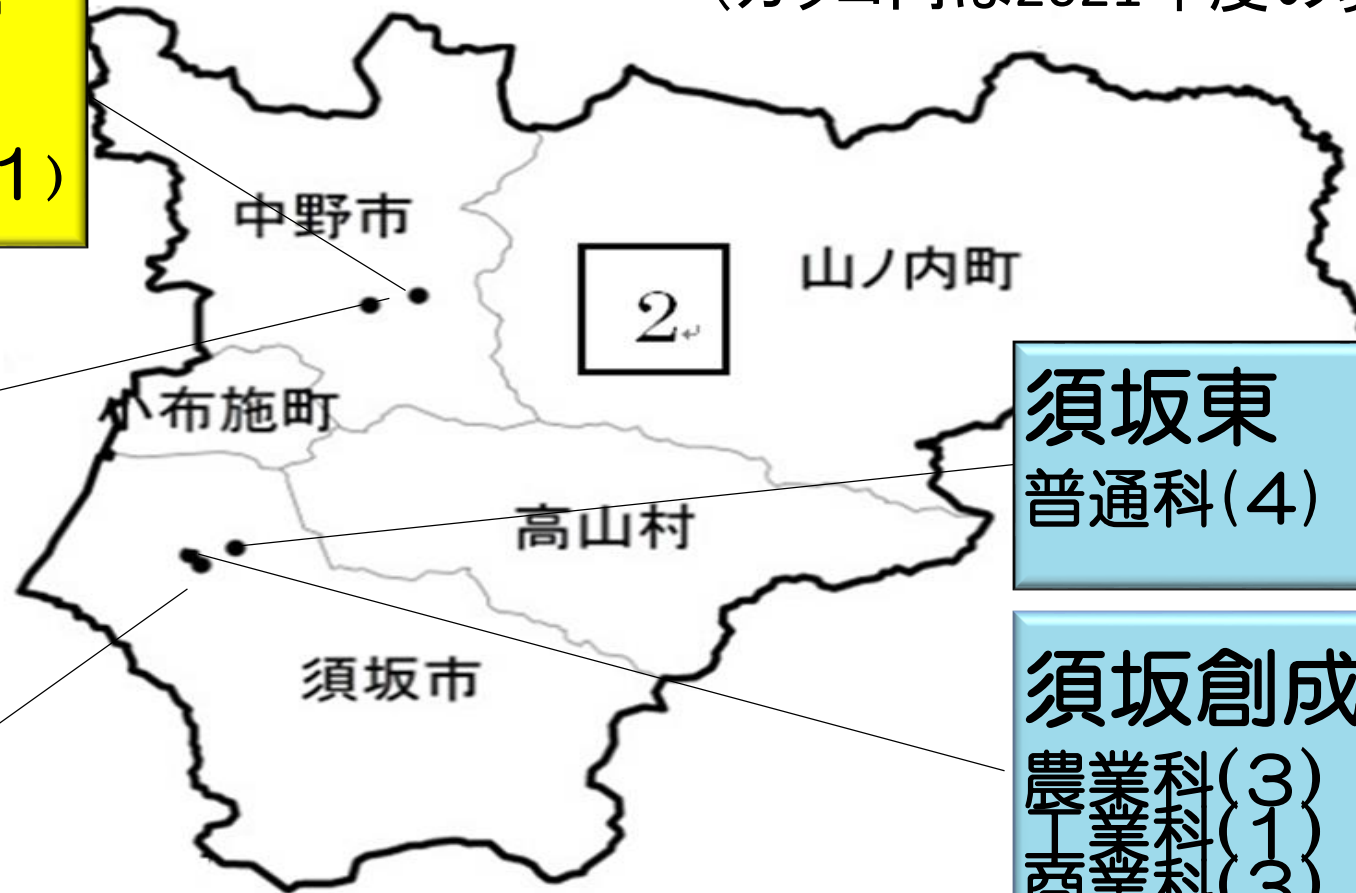
生徒募集定員の状況

(カッコ内は2021年度の募集学級数)

中野立志館
総合学科(5)
定時制普通科(1)

中野西
普通科(4)

須坂
普通科(6)

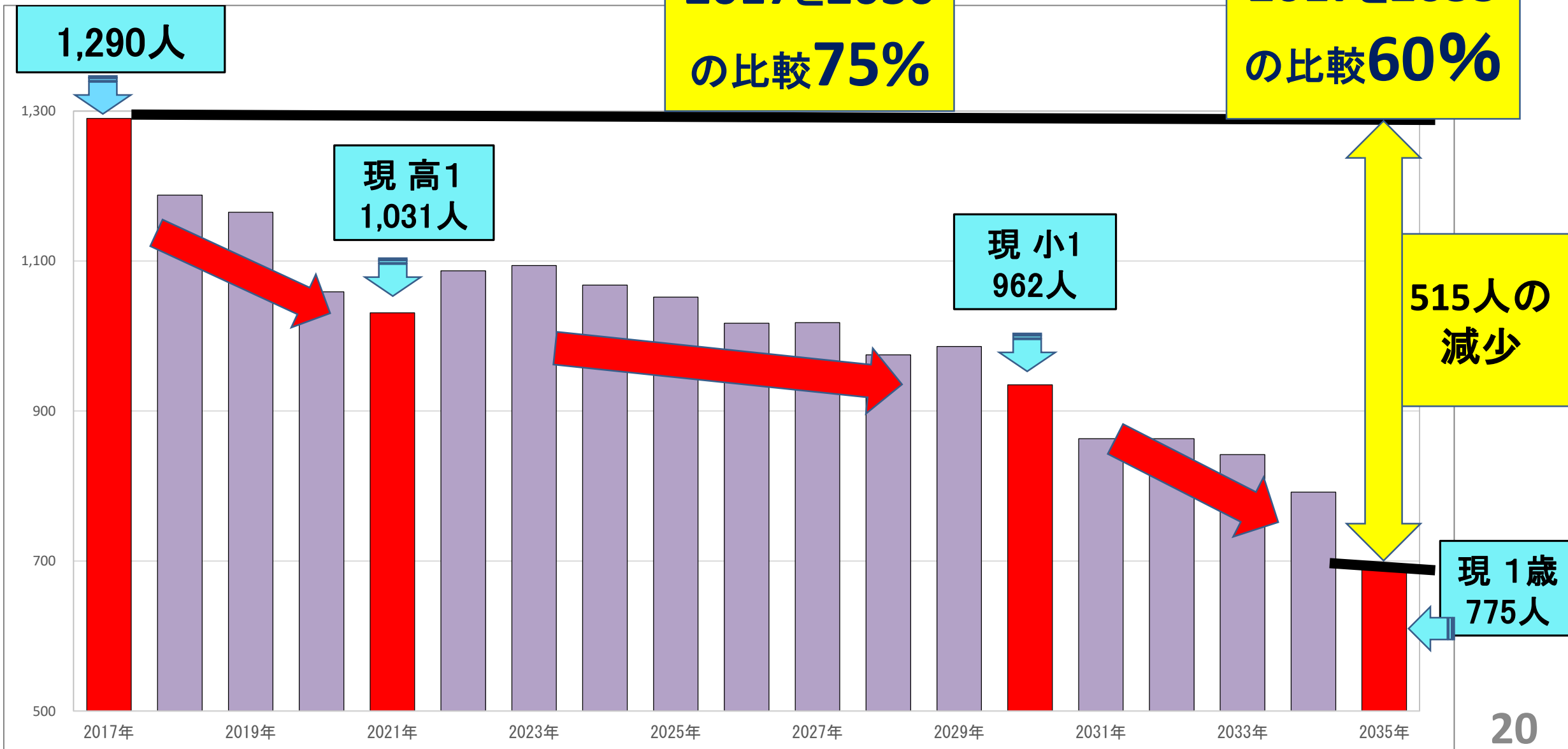


須坂東
普通科(4)

須坂創成
農業科(3)
工業科(1)
商業科(3)

旧第2通学区 少子化の状況(中学校卒業の推移)

(人)



旧第2通学区 少子化の状況

「実施方針」で示した再編の方向

少子化を踏まえた
高校の将来像の検討

地域の子どもを地域で育
てる学びの場の確保

規模の大きさ
地域社会と連携
自己選択の幅を広げる

都市部存立校

旧第2通学区の高校の将来像を考える地域の協議会

地域の「協議会」の概要

- ① 名 称 旧第2通学区の高校の将来像を考える協議会
- ② 会 長 三木 正夫 須坂市長
- ③ 委 員 29名
- ④ 活動期間 2019年（令和元年）
6月～
- ⑤ 意見提出 2020年（令和2年）
8月18日



高校配置に関わる意見

旧第2通学区の特殊性

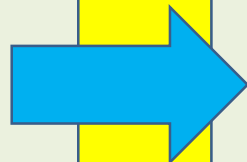
- 都市部存立校のみが存在
- 隣接する旧第3通学区内中学校からの入学者が多い
- 地域内に私立高校がない

子どもたちの夢をかなえる学びのあり方について

- 多様な経験、出会い
- 他者との関わり合い



刺激、成長



- 都市部存立普通校(募集定員240人以上)
- 普通高校、総合学科高校、総合技術高校、定時制高校と多様化する生徒の学習ニーズに応える学習環境

(旧第2通学区) 再編・整備方針

これから実施する計画

中野立志館高校と中野西高校の再編統合



中野総合学科新校(仮称)

須坂東高校と須坂創成高校の再編統合



須坂新校(仮称)
【総合技術高校プラス普通科】

定時制課程の配置



再編・整備計画【三次】(案)
2022年(令和4年)策定・公表予定

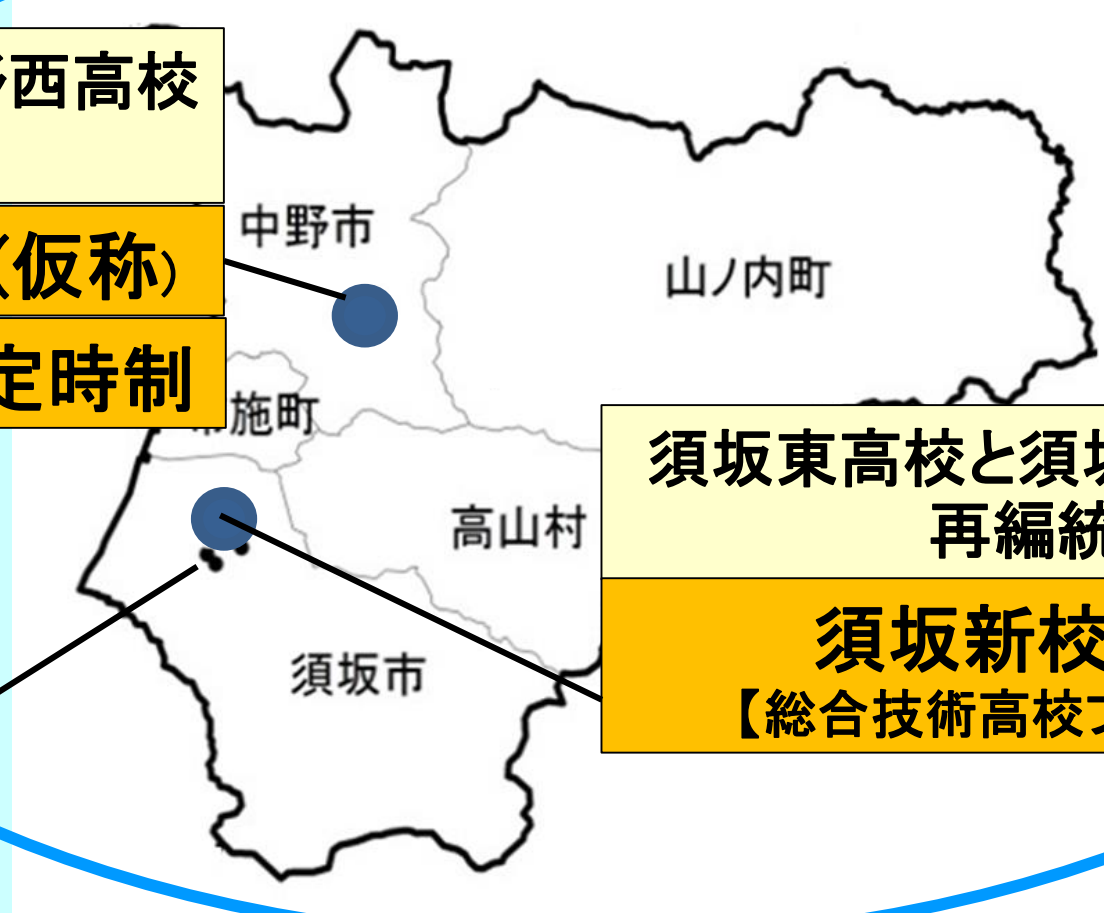
旧第2通学区 高校配置

多様なニーズに応える学びの場の配置

中野立志館高校と中野西高校
の再編統合

中野総合学科新校(仮称)

中野総合学科新校定時制



須坂東高校と須坂創成高校の
再編統合

須坂新校(仮称)

【総合技術高校プラス普通科】

須坂
普通科(6)

中野 総合学科新校 (仮称)



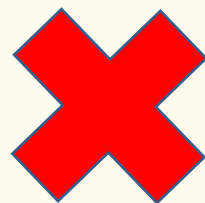
持続可能な社会の創造に貢献する総合学科高校

中野立志館高校(総合学科)

単位制

- 自分を知り社会を知る
- 将来を見据えたキャリア教育
- 生徒が主体的に作る時間割

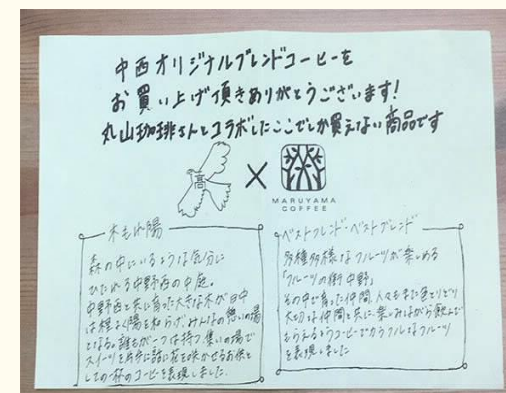
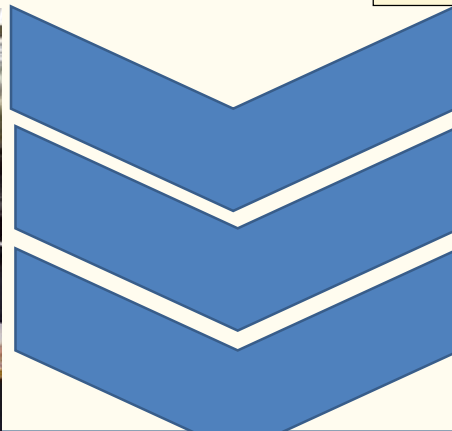
人文科学 自然科学 生産技術
商業実践 生活科学 5系列



探究

中野西高校(普通科)

- ESD (持続可能な開発のための教育)
- ユネスコスクールの認定
- 環境学習 (ABMORI植樹活動など)
- グローバル教育 (国際教育の充実)
- コーヒーを通じた海外との交流



キャリアデザイン高校 (総合学科高校)

総合学科
単位制による学び

専門学科・就業体験
産業社会と人間

規模の大きさを活かした多様な科目

学びをデザイン

個別最適な時間割

普通科
学びの充実

国際・環境
ユネスコスクール

ESD 教育

持続可能な社会に貢献する生徒を育成

学校外の学修の単位認定

自己探究の企画立案実行

幼保小中高一貫した学び

地域の学びの拠点

学びたいことを進路実現(大学進学・
就職等)につなげる学校

総合学科とは？



普通科と専門学科に続く「第3の学科」＜平成6年（1994年）導入＞

特徴

- 将来の職業選択を視野に、**自分の個性や適性を発見**
- 普通科、専門学科を統合→**幅広い選択科目**
- 普通科目、専門科目の幅広い選択科目の中から**自分で時間割作成**
- 「単位制」ー必要な単位を履修して卒業
- 1年次は必履修科目中心。2年次以降は選択科目中心。

学び

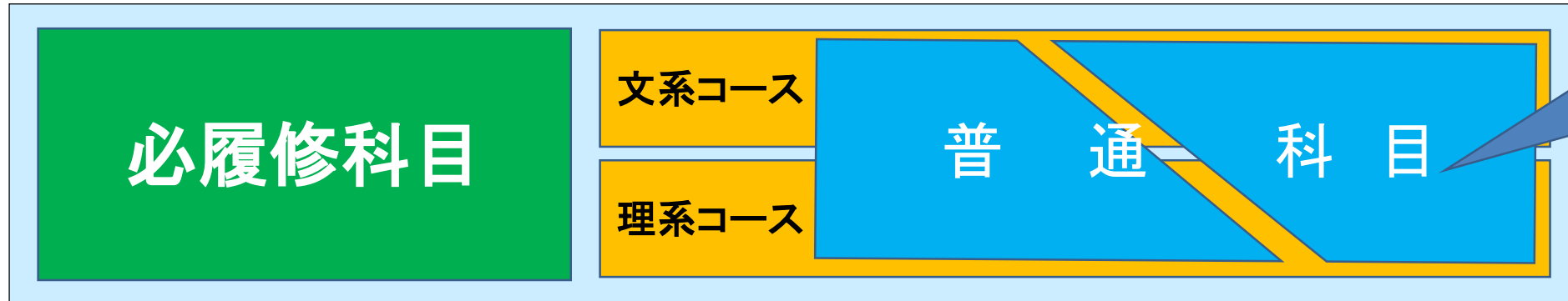
- 国語・数学などの普通科目ばかりでなく、専門科目も学べる！
- 自分の将来を考える授業があり、先生のサポートも充実！
- 2年次以降は、様々な系列を目安に**進路に合った学習が可能**！

進路

- 全国の総合学科卒業生の進路** ＜令和2年度学校基本調査＞
大学・短大等進学約34% 専修学校等進学約31% 就職約28%

総合学科高校について

普通科の科目選択



決められた科目の中から選択

総合学科の科目選択



多様な科目の中から主体的に選択

総合学科 進路状況

<令和2年度 進路状況>



| 高校名 | 大学 | 短大 | 専門 | 進学計 | 就職 | その他 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 塩尻志学館 | 28.5% | 16.3% | 38.0% | 86.8% | 8.6% | 4.5% |
| 中野立志館 | 9.5% | 5.2% | 35.2% | 51.9% | 43.8% | 4.3% |
| 丸子修学館 | 13.8% | 8% | 40.0% | 63.1% | 36.9% | |
| 市立長野 | 49.4% | 11.5% | 30.8% | 91.7% | 4.5% | 3.8% |

系列 時間割作成(科目選択)の目安(道しるべ)として科目群をまとめたもの

- 塩尻志学館高校 人文社会、自然科学、芸術・スポーツ、生活福祉、国際文化、環境科学
食品科学(ワイン)、情報ビジネス —8系列
- 中野立志館高校 人文科学、自然科学、生産技術(工業)、商業実践、生活科学 —5系列
- 丸子修学館高校 文化アカデミー、サイエンスアカデミー、バイオ・環境テクノ(農業・工業)、
スポーツ健康、情報ビジネス、芸術デザイン(被服・芸術) —6系列14分野

今後の総合学科に求められるもの

■中身や成果に輝くものを創る。理念を繰り返すだけで終わらない。

○キャリア教育を実のあるものへ

生徒の卒業時の満足度が100%になるように自主的な科目選択のサポートをし、自己肯定感を高め、卒業後の学び、地域貢献につなげる。

○教科の学びや探究活動等の学びの質のさらなる向上

競技会やコンクールへの積極的な参加。課題探究発表会。地域人材の活用(講師など)。学年を超えた分野の追究。

○地域との連携、地域に愛される学校

地域との結びつきは不可欠。ボランティア活動や地域企業にインターンシップ、授業開放(公開講座)。

◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

6 会議事項

（1）「高校改革～夢に挑戦する学び～」の説明

- ① 実施方針
- ② 再編・整備計画【二次】
- ③ 中野総合学科新校（仮称）の学校像

（2）質疑応答及び意見交換



◆第1回 中野総合学科新校（仮称）再編実施計画懇話会

7 その他

【次回の予定】

- ◆日時：令和4年1月24日（月）18:00～19:30
- ◆会場：中野市中央公民館
- ◆内容：各校生徒による学校紹介・意見交換

8 閉会

